

「研修旅行」 植物観察記録 2019.7.11～12

指導・岡田先生 記録・1班/東條、中藤

1日目は、雨の為、植物観察はありませんでした。

2日目の植物観察は、

【木】 オオバヤシャブシ、 ヤマハゼ/右、 アカメガシワ、 キササゲ、
ノリウツギ、 リョウブ、 センリョウ、 イズセンリョウ、 ユズリハ/左、 タラ
ノキ、 コマツナギ、 フジ 12種



【草】 ウラジロ/下右、 コシダ/下左、

フユイチゴ、 ヤブミョウガ、 イタドリ、 アキノタムラソウ、 メヤブマオウ、 ネ
ジバナ、 タケニグサ、 サルトリイバラ、 ヒオウギ、

リョウメンシダ、 カンアオイ、 ヤマアイ、 オオハングンソウ、 ガガイモ 16
種

//////// 旅の所感と感想 //////////

7/11 大雨の為、「種まき権兵衛の里」と期待し
ていた銚子川「ゆらゆら帯」見学は早々に引き上
げ、予定していた熊野古道「馬越峠」を翌日に変更した。

急遽訪問した「三重県立熊野古道センター」は建物も素晴らしく資料も豊富で熊野古道の勉強に役に立った。
下見をしていなかったようだが訪問は正解であった。

夜の宴会は、「ピアノ売ってちょーだーい。電話してちょーだーい。」などの懐メロならぬ関西ローカルのテレ
ビCM再現を各班対抗で。各班の面白おかしの演出に審査員も採点には四苦八苦の連続。



7/12 熊野古道伊勢路の馬越峠道をめざして歩くも、石畳を川底
にして、前日の雨が急流の沢と化して危険なため 200m ほどで引き
返し。残念さよりも自然の恐ろしさの一端が体験できたのも収穫。

FSC の森散策では、速水さんから森を育てる人から、木材製品を
製造・販売する会社、製品を使う人までが一緒
になって、世界の森林を健全にすることで地球
環境を守ろうという仕組みであることが分か
りました。そして、「蛭」も元気でした。



始神テラスでのマンボウフライ
定食、食感は鶏のささみかな。やはり珍しさに誘われたものの、マンボウは「食
卓よりも水族館での、あの愛らしい姿で満足」なので、また味わうとなると「刺
身定食」にくら替えします。

最後に悪天候の為予定通り実施出来なかったり幹事不慣れの為に連絡ミス等
があった点もあるが宴会も含めて全体的に良かったと思う。ただ4月に新任さ
れた班長会の人々には時間的余裕がなかったりして大変だったと思う。今後の
研修旅行は例年通り秋に実施するのが望ましいと思う。



二日間の研修旅行では、各担当班の企画力と連携力が、ものの見事に開花するのを存分に味わい、そら全体の親睦交流が深まったことです。